

公開シンポジウム 「ヒトとサルの進化から考える社会と多様性」



日時： 令和5年(2023年) 6月17日(土)：13：30～16：00

会場： 東京大学理学部2号館講堂(東京都文京区7-3-1) (ハイブリッド開催)

※どなたにも参加いただけます！参加無料！事前申し込みが必要です

◇第1セッション「ヒトとサルの進化から学ぶ」(13:35-14:55)

河村正二(東京大学・新領域創成科学研究科)

『色覚の進化と多様性、「色覚異常」は異常ではない』

中川尚史(京都大学・理学系研究科)

『ヒトの知性の基盤としての寛容性：サル学からのアプローチ』

徳山奈帆子(京都大学・野生動物研究センター)

『寛容と協力により保たれるボノボのメス優位・中心社会』

諏訪元(東京大学)

『初期の猿人から新人まで、進化は適者生存か？』

◇第2セッション「教育現場との対話」(15:10-16:00)

東京都生物教育研究会所属の教員からコメントと総合討論

主催：日本学術会議統合生物学委員会・基礎生物学委員会合同自然人類学分科会

共催：日本人類学会・日本霊長類学会、

後援：東京都生物教育研究会

お問合せ先 日本人類学会人類学普及委員会 (jinruigakufukyu@gmail.com)

参加フォームなど詳しくは <http://urx.blue/mV0b>

